



クラブ活動報告 大会成績

ゴルフ部

【第61回 TEAMきずな杯】

■日時/2026年3月7日(土)
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ
(太平洋・暖流コース)

優勝 **十河 清**(ゲスト)

準優勝 西川 広(本院 運転手)
3位 堀川 健太(管理部)
4位 中村 章一郎(名誉院長)
5位 中野 知夏(ゲスト)



ご結婚おめでとう

施設用度課 **堀川 健太** さん
2026年3月14日入籍

検査部 **堀川 亜優** さん
旧姓:岩井
2026年3月14日入籍

ご出産おめでとう



臨床工学部
高橋 和也
2026年1月24日生まれ
実乃梨 ちゃん



安芸臨床工学部
川上 剛・悠加
2026年3月6日生まれ
絢三花 ちゃん

編集 後記

春風が心地よい季節となりました。新年度を迎え、新たな気持ちで地域の皆さまに寄り添った医療を提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。本年度どうぞよろしくお願いたします。
(広報委員会/矢間)

尚腎会
2026年2月の診療実績

●外来患者数/2,687人 ●紹介患者率/32.8% ●新入院患者数/92人
●退院患者数/100人 ●平均在院日数/14.7日 ●病床利用率/75.2%

高知高須病院

■院内広報誌「ふれあい」 vol.119 ■発行日/2026年4月25日
■発行所/高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人/池辺弥夏 ■編集/広報委員会
■印刷所/(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードより、
高知高須病院の携帯
サイトに簡単アクセス!



ふれあい



高知高須病院 院内広報誌 **4**月号
2026
vol.119



目次 Takasu Topics 泌尿器科 WAVE 療法

- KAIZEN 発表大会
- 慰霊祭
- 感謝状贈呈式
- 地連だより
- そらまめ教室
- たかす制服コレクション
- はるかだより
- 分院だより
- リレーマラソン
- 人生いろいろすずなりリレー
- 学会・掲載雑誌名等発表記録
- ニューフェイス紹介
- クラブ活動報告
- ご結婚・ご出産おめでとう

理念 患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供します

1. 患者さんの立場を理解し、暖かい心、豊かな心で、患者さんの立場に立った医療を実践します
2. たゆみない知識の習得と技術の向上に心がけ、患者さんに還元します
3. 清潔で快適な環境を提供します
4. 柔軟性を持って、互いの連携と協調に努めます
5. 情報の確保に努め、進取の精神を持って創造と実践を心がけます

泌尿器科 WAVE療法



泌尿器科 部長
吉道 丈

WAVE療法とは

WAVE療法は、水蒸気の熱エネルギーを用いて前立腺肥大症を低侵襲かつ安全に治療し、排尿症状を改善する最新の手術法です。

WAVE(Water Vapor Energy)治療では、Rezumシステムを用いて尿道から内視鏡を挿入し、肥大した前立腺内に103℃の水蒸気を約9秒間注入します。この熱エネルギーにより前立腺組織は約70℃まで加熱され、壊死・退縮して体内に吸収されます。これにより尿道が圧迫されていた前立腺が縮小し、症状の改善が期待されます(図1)。

治療時間はおよそ10分程度で、手術中の出血がほとんどなく、日帰りや短期入院(1~2日または2泊3日)で受けられるのが特徴です。



どんな人に適応する治療法か?

従来の手術が困難な高齢者、合併症をお持ちの方や薬物治療が不十分な方。前立腺が大きすぎる場合や尿路感染中、尿道括約筋インプラント使用者は適応外。



2026 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

治療の流れ

①事前診察・検査

排尿症状や前立腺サイズを検査。WAVEの適応か判断。

②麻酔

当院は全身麻酔で行います。

③手術

尿道から内視鏡を挿入し、前立腺組織に針で水蒸気を注入(3~10分)。

④カテーテル留置

術後は尿道カテーテルを約3日間以上留置し、排尿困難の支援を行います。

難の支援を行います。

⑤術後経過

壊死組織が吸収されるのに1~3か月かかり、その間に徐々に排尿改善が現れます。

⑥フォローアップ

尿流測定、残尿量チェック、必要に応じて薬物調整。再手術のリスクは5%以下、長期的に症状改善が持続します。

メリット・特徴

低侵襲・出血がほとんどないため高齢者でも安全に実施可能。性機能温存の可能性(射精障害は約3%程度報告)。従来手術より尿道粘膜や膀胱機能に影響が少ない。

合併症・副作用

一般的には軽度で一時的なものが多く、主な症状は以下です。
 ■尿道違和感、排尿困難(約17%) ■血尿(約11%)、血精液症(約7%) ■頻尿、尿路感染(3~6%) ■尿閉や精液量減少がまれに発生

安心・安全で高度な泌尿器科治療を目指します!

2015年導入

手術支援ロボットダビンチ
四国民間病院で初導入!

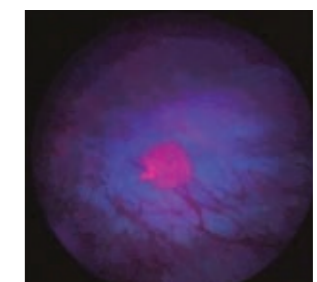
2018年導入

膀胱がんの早期発見に向けて
PDDカメラシステム

PDDは、5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた蛍光診断技術CIS(上皮内癌)などの平坦型病変の検出に有効とされており、従来の白色光膀胱鏡では見逃されがちだった病変の視認性を高めます。



通常光画像



PDD画像

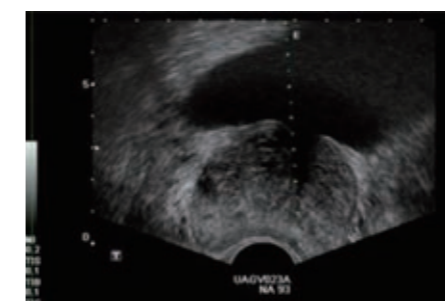
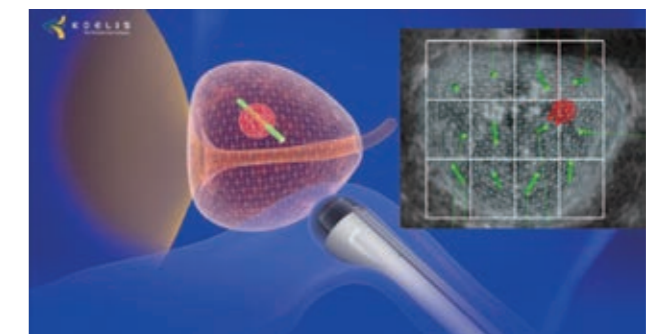
特徴

- 高感度な病変検出: がん細胞が赤く蛍光を発するため、視認性が向上します。
- 再発リスクの軽減: 早期発見により、適切な治療方針の選択が可能です。
- 安全性の高い検査: 5-ALAは安全性が高く、患者様への負担も少ないです。

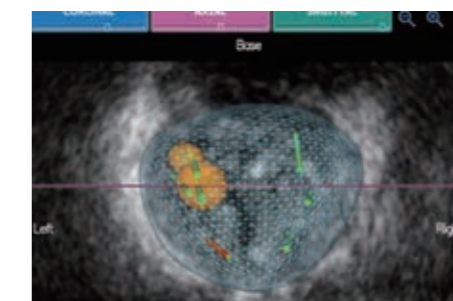
2019年導入

前立腺生検をより正確に診断する
MRI融合標的的生検システム

従来の前立腺生検と比べ、MRIと超音波画像を3D融合した生検装置を使用することで検出率に画期的な変化をもたらします。不必要な生検を減らし、より適切な治療法の選択が可能です。



従来の2Dイメージ



トリニティ3Dイメージ

慰霊祭

慰霊祭を執り行つて

病棟部長 岡山 智佐

当院では、毎年お亡くなりになられた患者さんを偲び慰霊祭を執り行っています。今年も2月7日(土)に心月記にて慰霊祭を開催し、16家族、22名のご遺族にご参列いただきました。当日は、理事長・院長をはじめ職員23名が参列し、要法寺住職による法要のもと、故人のご冥福をお祈りいたしました。法要後には、限られた時間ではありましたが、ご遺族とともに故人を忍び静かに語り合うことができました。



地方公務員災害補償基金高知県支部審査会 及び高知県公務災害補償等審査会より 感謝状の贈呈を受けて

高知高須病院 名誉院長 堀見 忠司



私は、2025年12月22日、高知県知事濱田省司様より感謝状を拝受いたしました。28年間、地方公務員災害補償基金高知県支部審査会及び高知県公務災害補償基金高知県審査会の委員として、永年に渡り寄与したことに對するものです。厳肅な雰囲気の中、数十名の重鎮の方々に囲まれての贈呈式に、身の引き締まる思いがいたしました。50代前半から高知県内小中高等学校の職員をはじめとする公務員の方々と、色々な事故や災害などの補償に関する事例に携わってきた多数の想い出が懐かしく思い出されました。公務災害補償制度の適正な執行に關する担当は、弁護士と労働基準局の方、医師である私と3人で、年に数件のミニ裁判に相當する審査に寄与して参りました。私は医師としての発言でしたが、大変重い責任もあり、本当に緊張した時間が今でも鮮明に思い出されます。このような貴重な経験をさせて頂きましたことに対して、本当に良い経験であったと心から感謝しています。

第14回 KAIZEN 発表大会

KAIZEN発表大会を1月29日と2月5日の2日間にわたり開催しました。各部署で1年間取り組んだ業務改善の成果を発表する本大会も今年で14回目となります。今回の最優秀賞は臨床工学部の「抗凝固剤の使用量を見直す」と良いことだらけだった。また、優秀賞は管理部医事課「未収金回収の取り組み」が受賞しました。今後もKAIZEN活動に取り組みていきたいと思います。

この度は最優秀賞に選出いただき、ありがとうございます。

今回、私は透析治療に用いる抗凝固剤「ヘパリン」の使用状況に着目しました。院内データを分析したところ、5000単位以上の高用量使用率の増加に伴い、止血不良対応のコストも増大していることが判明しました。そこで、全患者さん約540名を対象に、ヘパリン投与量の最適化による「止血時間の短縮」と「コスト削減」を掲げたKAIZENプロジェクトを始動しました。

具体的には、①DW(ドライウェイト)50kg以上と未滿で使用用量を変更するルールの撤廃②半減期を考慮し、透析終了30分前に投与を終了するルールの導入③安全対策として3000単位使用者は全量注入という新基準を策定し

ました。2ヶ月半という短期間のスケジュールでしたが、各フロアのスタッフが前向きに取り組んでくれたおかげで、残血や凝固を発生させることなく、最適な投与量への移行を完了できました。

結果、患者さんには「出血リスクの軽減」、スタッフには「知識習得」と業務負担の軽減、病院には「年間数百万円のコスト削減」という、まさに「三方よし」の成果を得て、見事3連覇を達成することができました。

今後もこの結果に満足せず、日々の業務改善と医療の質向上に邁進してまいります。



抗凝固剤の使用量を見直すと良いことだらけだった 「三方よし」で挑んだKAIZENプロジェクト、3連覇への軌跡

臨床工学部 臨床工学技士主任 山本 浩平

第3回 CKD 情報交換会開催



2026年1月22日(木)
第3回CKD情報交換会をWEBにて開催いたしました。

患者支援センター センター長 山脇 弘子

- 1 令和7年腎臓内科への紹介集計報告
- 2 紹介患者様の症例紹介『多職種で支える慢性腎臓病患者への支援』
～家族の支援を含めた実際～として、チームでの取り組み
- 3 管理栄養士『慢性腎臓病患者の栄養指導』
- 4 当院の取り組みの紹介『教育入院について』

日頃よりお世話になっている先生方、また、医療関係者の方にお忙しい中ご参加していただきありがとうございました。研修終了後のアンケートでは、「大変勉強になりました。また次回を楽しみにしています。」とのご意見を頂きました。感謝申し上げます。

今後も、より良い病診連携を目指して努力してまいりますので、よろしく願いいたします。



【腎臓内科診察日】

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	—	池 辺	池 辺	池 辺	池 辺	—
午後	大 田	—	水 口・寺 田*	—	刑 部	—

午前/9:00~12:30 午後/14:00~17:00

※寺田医師の診察は基本的には第3水曜日となっておりますが、変更もありますので事前に外来看護師にお問い合わせください。

外来診療予約・変更・キャンセルについては外来予約センターで受け付けます。

■予約センター番号 **TEL:088-802-7576**

予約受付時間/8:30~17:00(診察日のみ)

慢性腎臓病やその他の内科的疾患に対してチーム医療の充実した体制をとり、即日栄養指導、教育入院にも取り組んでいます。

お問い合わせに関しましては、予約センターで対応しておりますのでいつでもお気軽にご相談ください。

2026年1月~3月にご紹介いただいた患者さまは291件、地域医療連携室を経由してご紹介いただきました患者数は269件でした。ご紹介ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



そらまめ教室開催しました



臨床検査技師 福本 明海

2026年1回目のそらまめ教室は2月21日(土)に患者さんとご家族、計12名の方々にご参加いただき5F会議室にて開催となりました。

安芸診療所水口院長による「慢性腎臓病に伴う貧血について」の講義では、なぜ腎臓が悪くなると貧血になるのか、また腎臓が原因の貧血の治療法や、その治療が透析導入にどのような影響を与えるのかなどを詳しく説明されていました。

川添薬剤師による「慢性腎臓病(CKD)で注意が必要な薬剤とシックデイへの対応」についての講義では、なぜ腎臓病では薬に注意が必要なのか、また食事が出来ないほど体調が悪い日(シックデイ)の薬への対応についてなど、イラストや写真を用いてわかりやすく説明されており、各講義ともに参加者の皆さんメモをとりながら真剣に

聞いておられました。

教室終了後には、「腎臓病による貧血について詳しく知る事ができました」などの嬉しいお言葉を頂きました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

そらまめ教室ご案内

腎不全について一緒に勉強してみませんか?参加費無料です。患者さんのご家族の方も一緒にどうぞ。

- 個別相談・腎臓食のお土産があります。
- 予約制になっておりますので、詳しくは腎臓内科外来スタッフにお声かけください。

088-878-3377(代表)

vol.18

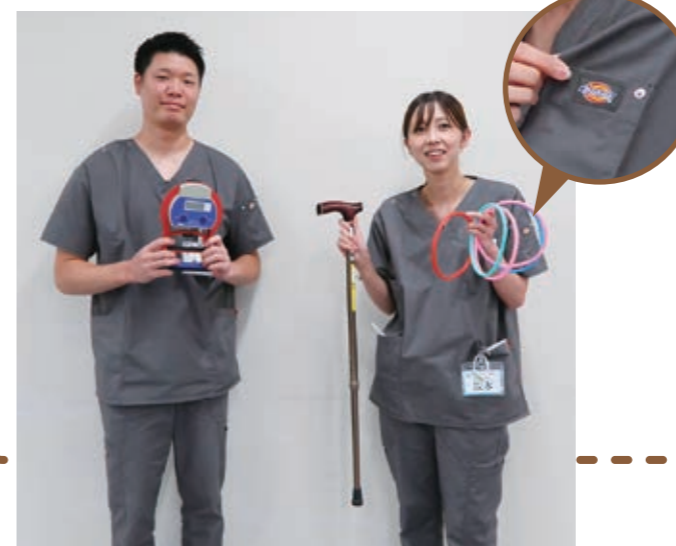
たかす制服コレクション

リハビリ部&薬剤部

リハビリ部

これまでのイメージを一新し、上下を同一のカラーリングにしてスタイリッシュな印象にしました。

PT、OTで区別していたカラーも統一し、リハビリチームの団結力はより一層高まりました。



薬剤部

これまで長く親しまれて来た白衣から、新たなユニフォームへと装いを一新しました。

より親しみやすく、動きやすいスタイルで、これからも安心と信頼を提供してまいります。



はるか
だより

情熱のはるか新年会

はるか介護福祉士 渡辺 潤也

今年は、情熱や強さの「丙午(ひのえ・うま)」年です。はるかでも情熱の新年会を開催、定番の羽根つき・福笑い、職員手作りの鳥居と賽銭箱への初詣を行いました。

羽根つきは、ダブルス対戦!負けるとX印シールを顔に貼られてしまうので、皆様「きゃー、そっち行った〜!」と大きな歓声を上げ戦っていました。



その熱狂から「私もやる!」と普段は観戦だけの方も参加され、大盛り上がりです。その熱狂の

まま次は、福笑い!床の顔輪郭にパーツを投げ、福々とした表情を作っては、これまた大笑いしました。

最後は初詣!廊下に突如出現した鳥居に皆様興味津々です。コインを賽銭箱に投げ入れ、2礼2拍手1礼で、熱心に御祈願されていました。きっとご利益が得られた事と思います。おみくじの結果はいかがでしたでしょうか。

その後は、職員手作りのおぜんざいで喫茶タイム、心も身体もとても温まった情熱のはるか新年会でした。

皆様にとって良い年でありますように!



リレーマラソンに参加してきました!



医局 内科部長 川田 愛

2025年12月7日に春野総合運動公園で開催されたリレーマラソンに参加してきました。1周約2kmのコースを21周タスキリレーする大会で、堀井副看護部長、畠中病棟師長、訪問看護ステーションあき看護師吉田さん、介護福祉士松本さん、MSW氏次さん、管理部北岡副部長、山寺さん、私川田の8名で走りました。

42.195kmを制限時間の4時間で走れるのだろうか…と皆で言っていましたが、蓋を開けてみれば3時間40分23秒での完走でした。お天気にも恵まれ、タスキを繋いで走るというのは想像以上の楽しさで、全員が爽やかな笑顔で走り終えていました。

私はランニング歴2か月のほよほよ初心者で乗り込んでしまったため、途中の坂はきつかったのですが皆さんののおかげで楽しい一日を満喫させていただきました。

今回は他のメンバーの足を引っ張らないように、午年にちなんで力強くかつ軽やかに走りたくです。まずはポニーの小走りくらいのレベルを目指して練習します!

分院
だより

高知県災害派遣福祉チーム(DWAT)

～ 令和7年度県外派遣研修に参加して～

訪問看護ステーションあき 主任 西岡 みわ

2024年1月1日に発生した能登半島地震、その2ヶ月後の3月1日から高知県災害派遣福祉チーム(高知県DWAT)として災害支援を行い、2025・2026年は、災害派遣実績の多い「ぐんまDWAT」と訓練を実施しています。日頃より高知DWATの研修会や訓練を通して横に繋がりを深め、有事の際に協働できる関係作りに努めています。私自身も多専門職の視点を学ぶことで、視野が広がり様々な気づきを与えてもらっています。

内閣府の避難所運営ガイドラインでは「避難所生活は住民が主体となって行う」と定められており、各県から被災地入りしたDWAT員は、避難所で限られた期間、様々な職種と連携を図り、専門性を活かしながら被災者に寄り添い、被災地の福祉が自立できるよう支援します。今回は福祉避難所開設訓練を見学しました。そこでは、各福祉避難所が自費で物品準備をしており、高知県との災害に対する違

いを知りました。訓練中は皆が状況を報告し合い、助け合う姿が見られました。

訪問看護のスタッフには災害時にそれぞれが判断できるように教育を継続しており、利用者とも折に触れ災害時の対応について話すようになっています。安芸診療所や室戸クリニックではお薬手帳の確認など透析患者さんへの意識づけも行っています。日頃から、皆がホスピタリティを持ち、協働することで有事の際も乗り切れることを願っています。



福祉避難所の支援

高知龍馬空港にて



第63回 人生いろいろすずなりリレー

江川 淳哉 さんから → 病棟 看護師 竹村 美紗妃 さんへ

夏のイベント 高知よさこい祭り

高知県に住んでいたら誰もが知っている「よさこい祭り」に参加しました。よさこい自体は学校の授業であったり、一度参加したことがあったので馴染みがあるものですが、いざ参加してみるととても難しく過酷なものでした。

6月上旬から練習が開始となり、日勤終わりに練習に参加していました。夜勤や遅出がかぶると練習に参加出来なかったため1回でも練習を休んでしまうと周りのスピードについていけず、家で自主練習をしていました。友人と参加していたので、予定を合わせて家や公園で何度も自主練習をしました。「正直体力的に厳しく、何度もやめようかと思いました(笑)」。遅れを取りながらも本祭が迫ってきており、仕事と練習の両立で毎日大変でしたが、衣装が届いた時にはモチベーションが一気に上がり、頑張ることができました。

いよいよ前夜祭当日。色々な有名チームが揃っていてとても緊張しました。舞台へ上がると四方八方から

ライトが照らされ、心臓はバクバクでした。今まで練習してきたものをお客さんにお披露目する時が来たんだ、と感動と達成感がすごかったです。

本祭2日間はあっという間に終わりました。特に二日目の午後は天気が悪く土砂降り、雨に打たれながら踊り切りました。そして見事金賞を頂くことができました。ここまで練習を頑張ってきて良かったなと心の底から思いました。物事の両立はすごく大変で難しい事ですが目標が達成できるとそれ以上の喜びと達成感があり、とてもいい経験になったなど実感しました。

来年もぜひ参加したいと思っています。



学会・掲載雑誌名等 発表記録

学会・掲載雑誌名等	発表日	開催地	演題名	部署／発表者名
第51回 日本血液浄化技術学会 学術大会・総会	4月12日	愛知県	MLT600NIに搭載された透析分析モードの注意点	臨床工学部／小川 晋平
			血漿濾過率を使用した後希釈オンラインHDFの問題点	臨床工学部／中澤 貴広
第35回 日本臨床工学会	5月17日	大阪府	勤務表をエクセルのマクロ機能を使って自動作成してみた ～業務改善への第一歩～	臨床工学部／曾我部 直久
第4回 NPO高腎会総会 記念講演	6月1日	高知県	透析をされている方へ 在宅サービスのご紹介	看護部／堀井 美智 介護福祉部／岡林 正美
第15回 高知県臨床工学会	6月8日	高知県	低分子蛋白領域の除去効率を目的とした I-HDF用ヘモダイアルフィルターの選定	臨床工学部／吉本 優希
			ワーク・ライフ・バランス充実のための取り組み	臨床工学部／濱田 あすか
そらめ教室	6月14日	高知県	ちょっと運動してみん？～慢性腎臓病患者のリハビリテーション～	リハビリテーション部／坂本 智加
第70回 日本透析医学会学術集会・総会	6月28日 ～ 6月29日	大阪府	電子聴診器HVSIモニタの有用性	臨床工学部／高橋 和也
			透析中のPhase angle(位相角)の変動について	臨床工学部／小川 晋平
			透析中運動療法の取り組みと今後の課題	看護部／松本 陵汰
			高齢患者に適した後希釈OHDF膜の検討	臨床工学部／橋本 宗樹
透析機器の機能を活用したコスト削減	臨床工学部／細川 和宣			
糖尿病教室	7月12日	高知県	腎臓とお薬の関係	薬剤部／田中 聖子
第27回 日本医療マネジメント学会学術総会	7月18日	宮城県	腹膜透析導入に関する入院業務負担軽減への取り組み	看護部／川上 美幸
第一回 TAKASUじんりハラボ	7月27日	高知県	透析中に運動？	リハビリテーション部／寺井 祥央
第21回 日本医療マネジメント学会 高知県支部学術集会	8月24日	高知県	物品の受発注業務の効率化に向けて	管理部／久保 広起
			当院検査部でのタスク・シフト／シェア推進に向けての取り組み	検査部／矢間 芽衣
第15回 中四国臨床工学会	9月6日	広島県	腹膜透析分野でCEが期待されている事	臨床工学部／濱田 あすか
			透析液供給装置の洗浄プログラム変更による 洗浄剤使用量および透析排水量削減の取組み	臨床工学部／山本 希穂
			透析機器の既存eco機能を活用したコスト削減を目指して	臨床工学部／川上 剛
第194回 糖尿病教室	9月13日	高知県	糖尿病と足について	医局／吉本 幸生
第29回 日本透析アクセス医学会 学術集会・総会	9月13日	東京都	AVF・AVGにおける電子聴診器HVSI モニタの有用性	臨床工学部／高橋 和也
高知県泌尿器科会 令和7年度第3回症例検討会	9月19日	高知県	TULの術中に発症したアナフィラキシーショックの1例	医局／中西 茂雄
透析リハ教室	9月24日	高知県	透析中に運動？	リハビリテーション部／寺井 祥央
第31回 血液透析濾過医学会 学術集会・総会	9月27日	兵庫県	希釈方法の異なるOHDFがphase angleに及ぼす影響	臨床工学部／小川 晋平
			高齢患者に適した後希釈OHDF膜の検討	臨床工学部／千谷 翔
第59回 四国透析療法研究会	10月5日	愛媛県	透析中の自己抜針予防対策の標準化を目指して ～抜針対策フローチャートの作成～	看護部／井上 有花
			透析治療における透析液・電力使用量の削減について	臨床工学部／小笠原 諒
地域で「あし」を診る ～足のサインを見逃さないために～	10月10日	高知県	透析施設での糖尿病管理とフットケア	看護部／堀井 美智
第66回 全日本病院学会	10月11日	北海道	物品の受発注業務の効率化に向けて	管理部／古橋 由貴
			未収金回収の取り組み	管理部／溝渕 由莉
第14回 日本医師事務作業補助者協会 全国学術集会	10月19日	高知県	一目で治療歴が分かる ～「外来サマリ」作成に向けた取り組み～	外来診療部臨床支援課／ 山崎 美香
			外来常駐ヘルプ体制の構築 ～診療補助における負担軽減を目指して～	外来診療部臨床支援課／ 西村 ゆかり

発表期間2025年4月～2025年10月



ニューフェイス紹介

2025年12月16日～2026年4月1日
①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



透析室 看護師
小川 乃愛

①音楽鑑賞
②院内は明るく開放的で、どの職種の方も親切な対応をしてくださった印象です。
③日々学ぶ姿勢を忘れず、何事にも努力していきます。



透析室 看護師
中石 粧子

①旅行
②職員の方々がとても親切に対応してくださり温かい印象を受けました。
③何事にも一生懸命取り組みたいです。よろしくお願いします。



透析室 看護師
山下 亜寿

①キャンプ
②透析室のベッド数に驚きました。職員の方々の対応が優しく丁寧で温もりを感じました。
③1日でも早く業務を覚えられよう一生懸命がんばります。宜しくお願いします。



透析室 看護師
山本 典子

①ドライブ
②外来フロアに入った瞬間明るく開放感がありました。
③これまでの経験を活かし、新たな分野に挑戦し頑張っていきたいと思っています。



透析室 クラーク
毛利 和夫

①ルアーフィッシング、スノーボード、ソフトボール
②面接、採用時健診の際、接遇マナーがとても良く、お手本にしたいと思いました。
③思い立ったが吉日になるので不安が多々ありますが、早く力になれるよう頑張ります。



病棟 看護師
秋田 桃香

①音楽を聴くこと、読書、映画鑑賞
②患者さん一人ひとりに最善の医療を届ける活気に満ちた病院という印象です。
③温かい活気にあふれる現場で先輩方を目標に日々成長していきたいです。



病棟 看護師
大家 權

①スケートボード、釣り
②きれいで明るくて、働きやすい職場という印象です。
③持ち前の明るさや行動力、挑戦心で、全力で看護に向かいます。



病棟 看護師
戸梶 陽子

①食べる事
②泌尿器科として専門性の高い病院だと思います。
③慣れ親しんだ環境で、もう一度働きたいと思いついて来ました。宜しくお願いします。



外来 看護師
岩川 聖里那

①スポーツ観戦
②スタッフの皆さんが優しく、温かい雰囲気の病院だと感じました。
③患者さんのお役に立てるよう、思いやりのある看護を目指します。



OP中材 看護師
寺石 結

①カラオケ
②温かく落ち着いた雰囲気の中で患者さんに対する関りが丁寧で優しい印象があります。
③分からないことだらけですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



臨床工学部 臨床工学士
市川 大喜

①
②温かい雰囲気の中で先輩方が皆さん優しく、安心して働けそうだと感じました。
③地道に努力して、笑顔でチームに貢献できるように頑張ります！よろしくお願いします。



臨床工学部 臨床工学士
宇賀 桜音

①旅行、よさこい
②地域医療に貢献しながら、職員同士の連携を大切にしている病院だと感じました。
③まだ分からないことも多いですが、前向きに取り組む、日々学んでいきたいです。



臨床工学部 臨床工学士
大崎 陸斗

①音楽、映画、ドラマ鑑賞
②温かい雰囲気の中で、患者さんに寄り添う医療を大切にしている病院だと感じました。
③責任感を持ち、学ぶ姿勢を大切に努力します。



臨床工学部 臨床工学士
野村 緋花里

①飼育猫と遊ぶこと
②職員の皆さんが協力し合い、温かい雰囲気のある病院だと感じました。
③コツコツ努力することを大切に、何事にも前向きに取り組んでいきます。



臨床工学部 臨床工学士
板東 拓良

①物作り、カラオケ、音楽鑑賞、アニメ鑑賞
②院内が清潔で明るく、臨床工学士と看護師の関係の良さを実感しました。
③私は責任感が強く、一度決めたことには最後まで取り組みます。



検査部 臨床検査技師
中川 徳美

①水泳、映画鑑賞
②腎疾患領域の予防から治療、リハビリまで担当、地域に欠かせない存在だと思います。
③相手に寄り添う姿勢と責任感を強みに、丁寧に学び続け信頼される技師を目指します！



検査部 臨床検査技師
森下 結妃

①猫、映画や音楽を楽しみながらのんびり過ごす時間
②温かく落ち着いた雰囲気の中で、皆さんが優しく声をかけてくださる印象です。
③不慣れな点もありますが、誠実に取り組み、少しずつ成長していきたいです。



車輜 運転手
大石 一孝

①スポーツ観戦
②清潔感があり、丁寧な対応のおかげで安心して通院できると感じました。
③運送と介護の経験を活かし、利用者さんに安心していただける丁寧な送迎を心がけます。



介護付有料老人ホームはるか ケアマネ
北村 光雄

①野球
②職員の方々がとても親切で、温かい雰囲気の病院だと感じました。
③笑顔と丁寧な対応を心がけ、入居者さんに安心して過ごして頂けるように努力します。



介護付有料老人ホームはるか 介護助手
近藤 可連

①水泳、陸上、書道
②ホテルのような広さに驚きました。実習で仕事をさせて頂き職員さんが良かったです。
③体力には自信があります。障害があり会話が苦手ですが人と触れ合うのは好きです。頑張ります。

